

(2) トピックス

ア 新型コロナウイルス感染症のまとめ

新型コロナウイルス感染症は、全国で初となる報告が令和2年1月16日にあり、京都市では同1月31日に本市初の報告があった。

本市の令和2年の年間報告数は3,541例(京都市人口1,000人あたり2.4人)、令和3年1月～6月末までの半年間の報告数は8,091例(同5.5人)であった(HER-SYSより抽出、令和3年7月27日時点)。全国の令和2年の年間報告数は233,785例(日本人口1,000人あたり1.9人)、令和3年1月～6月末までの半年間の報告数は558,471例(同4.4人)であった(厚生労働省発表、令和3年7月27日時点)。なお、同期間中の死亡者数は本市で164例(致命割合1.41%、入院勧告解除後の死亡を除く。)、全国で14,776例(同1.87%)であった。

令和2年から令和3年の人口10万人あたりの報告数の推移をみると、本市では令和2年に第15週(57例:3.90)と第34週(175例:12.0)の2回の比較的小規模な流行があったが、令和2年第50週(288例:19.7)には、第34週のピークを超過し、令和3年第1週(747例:51.2)にこれまでで最大となる3回目の流行が発生した(図1)。その後、第9週(27例:1.85)に最低となって再び上昇し始め、第19週(650例:44.5)をピークとする4回目の流行となった。

本市の報告数の推移は全国と概ね同じような増減傾向がみられるが、3～4回目の流行は全国よりやや多かった(図1)。

令和2年1月～令和3年6月末までの本市の年齢階級別構成は、20歳代(22.6%)が最も多く、次いで40歳代(13.9%)、50歳代(13.3%)の順であった(図2)。全年齢での男女比は1.08で男性の方が多く、性別・年齢階級別では60歳代以下の全年齢階級で男性の方が多かった。しかし、70歳代以上では女性の方が多く、80歳以上の男女比は0.488と特に女性が多かった。

令和2年1月～令和3年6月末までの累計罹患率を見ると、全人口では0.53%(男0.58%、女0.49%)で、男女合計の年齢階級別では20歳代(0.97%)が最も多く、次いで30歳代(0.60%)、10歳代(0.55%)の順で高かった(図3:カラム上数値)。性別・年齢階級別で比較すると、80歳以上を除く全年齢階級で男性の方が高かった(図3)。

図1 本市と全国における令和2年1月～令和3年6月末までの人口10万人あたりの報告数

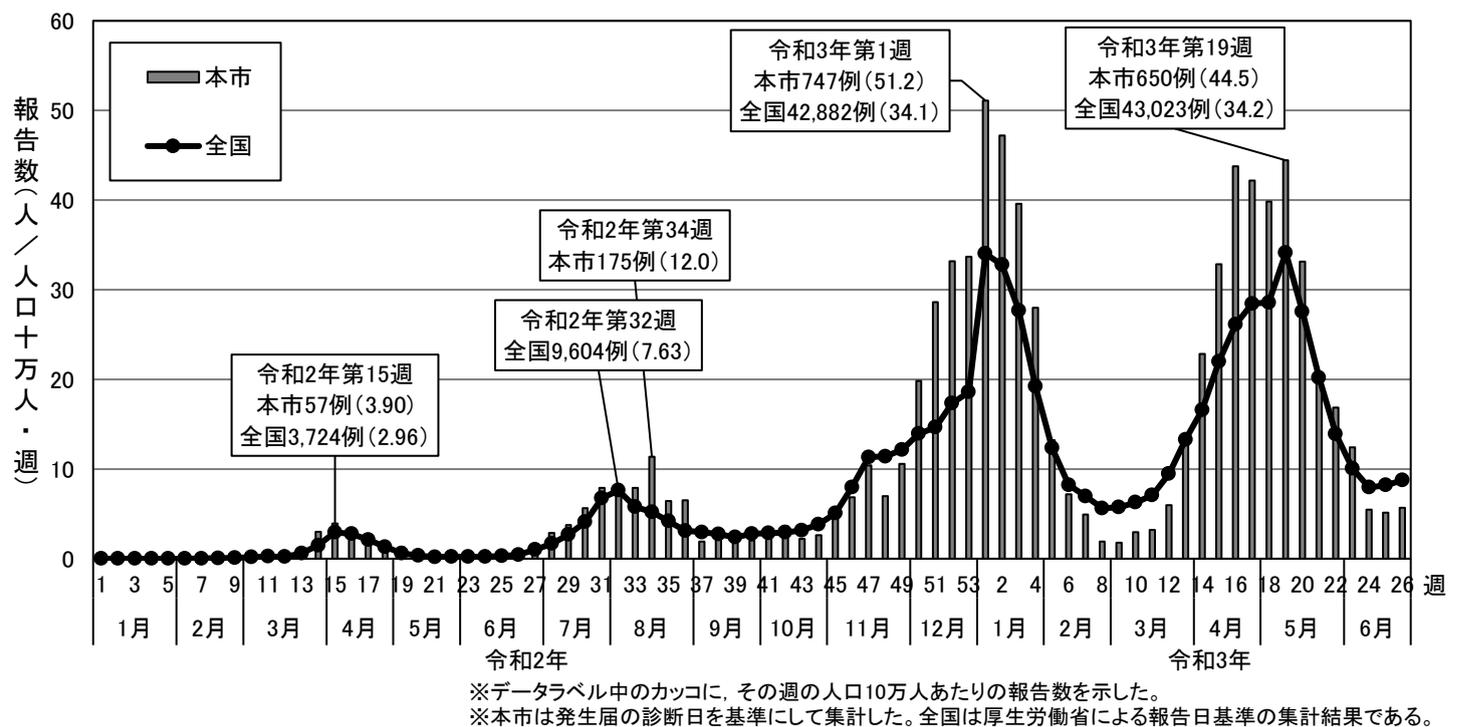


図2 本市の性別・年齢階級別の報告数(n=11,632)

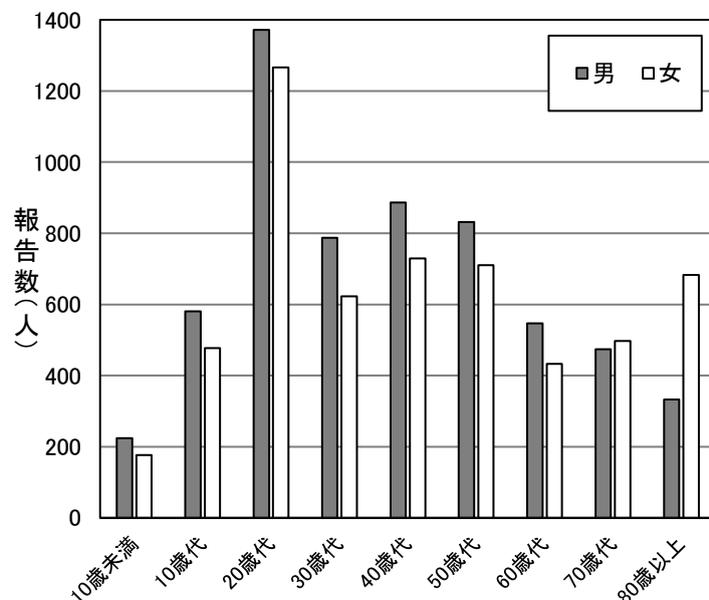
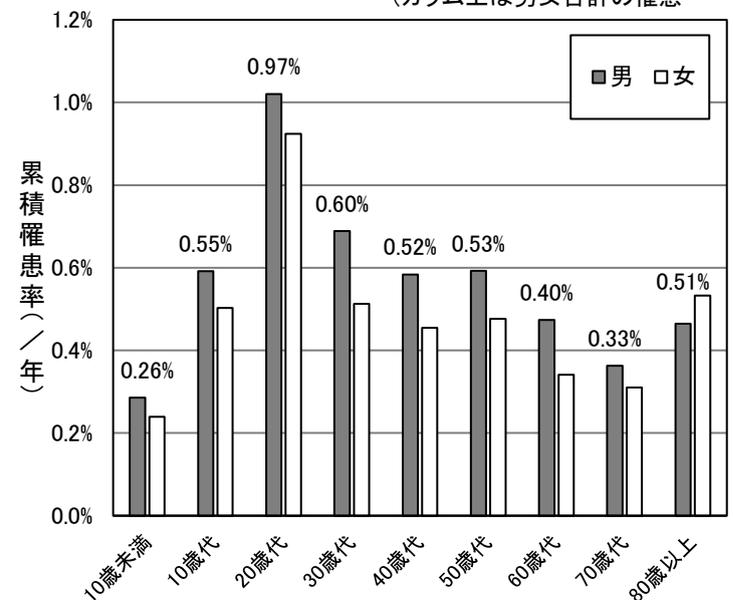


図3 本市の性別・年齢階級別の累計罹患率(n=11,632)
(カラム上は男女合計の罹患)



イ インフルエンザのまとめ

令和元年/2年シーズンは、令和元年48週に(令和元年11月25日～12月1日, 1.77)に、定点当たり報告数が流行入りの指標である「1.0」を超えた後、51週(12月16日～12月22日)には12.75まで増加し、注意報レベルの基準値「10」を超え、第52週(12月23日～12月29日, 18.28)にピークを迎えた。その後は減少に転じ、令和2年第6週(令和2年2月3日～2月9日, 8.91)に「10」を下回り、第13週(3月23日～3月29日, 0.68)に「1.0」を下回った。なお、全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況は、A(H1pdm09)型(85.5%), B型(12.3%), A(H3)型(2.2%)の順であった。流行開始からピーク時はA(H1pdm09)型が主に分離・検出されて過半数を占める一方、終息時にはB型の割合が増加した。

京都市の年齢階級別構成は、5～9歳(32.6%)が最も多く、次いで0～4歳(19.0%), 10～14歳(17.7%)の順であった。

令和元年/2年シーズンの流行状況について、直近過去5シーズンの流行状況と比較すると、流行開始時期やピークから「10」を下回るまでの期間に大きな差はないが、過去5シーズンは、H27/H28, H29/H30及びH30/H31の3シーズンで、警報レベルの開始基準値である定点当たり報告数「30」を超え、また警報レベル基準値を超えなかったH28/H29シーズンもそれに近い水準となっており、どの年も警報レベル前後の流行であった。一方、令和元年/2年シーズンは警報レベルとなる高い報告数にはならなかった。

さらに、令和2年/3年シーズンは流行入りの指標「1.0」を超えなかった。最も定点当たり報告数が多かったのは令和3年第4週(令和3年1月25日～1月31日)の0.03であった。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

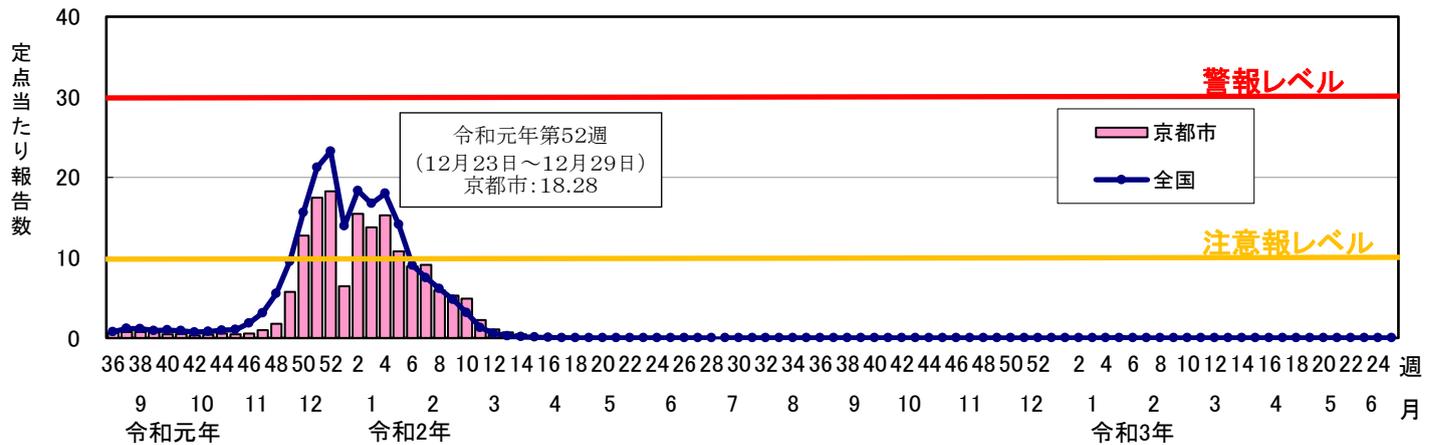


図2 全国のインフルエンザウイルス分離・検出数の推移

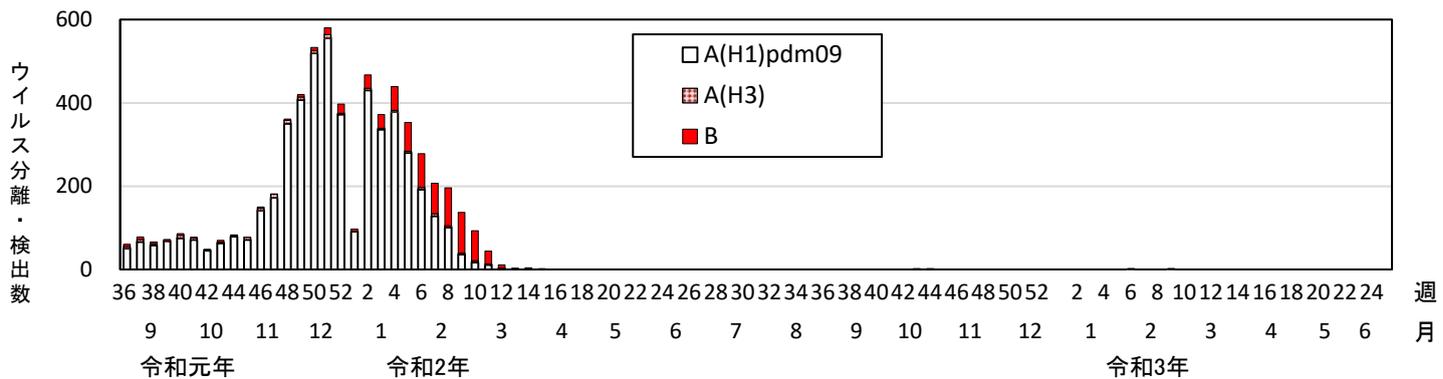


図3 京都市及び全国の年齢階級別割合

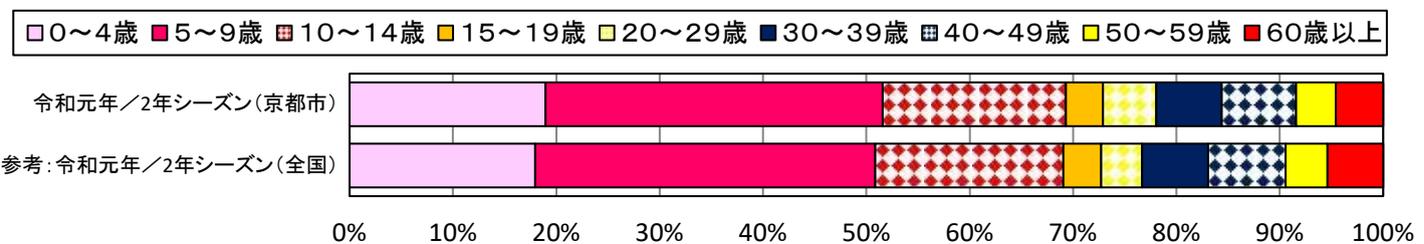


表1 京都市の過去5シーズンの流行状況

シーズン	H27/H28	H28/H29	H29/H30	H30/H31	R1/R2	R2/R3
「1.0」を上回った週	第2週	第48週	第48週	第51週	第48週	
ピーク時の 定点当たり報告数 (ピークの週)	32.82 (第7週)	29.59 (第4週)	47.64 (第5週)	47.71 (第4週)	18.28 (第52週)	0.03 (第4週)
「10」を下回った週	第12週	第10週	第11週	第7週	第6週	